



2024年度介護報酬改定 訪問介護 基本報酬 引き下げ



厚生労働省は1月22日、介護報酬改定の報酬単価を告示しました。特養や老健の基本報酬は2%を超え大幅に引き上げられましたが、訪問介護の基本報酬は2%ほど引き下げられ、明暗が分かれました。審議委員からは、訪問介護の引き下げについて「遺憾」との異論意見も複数出ました。今後、訪問介護の需要が伸びることが予想され、改定後の訪問介護の状況検証が求められています。

訪問介護 1回あたり単位数		①現行(単位)	②改定後(単位)	②-①(単位)	
身体介護	20分未満	167	163	-4	
	20分以上 30分未満	250	244	-6	
	30分以上 1時間未満	396	387	-9	
	1時間以上 1時間30分未満	579	567	-12	
	以降30分増すごと	84	82	-2	
	生活援助	20分以上 45分未満	183	179	-4
		45分以上	225	220	-5
身体介護に引き続き 生活援助を行った場合		67	65	-2	
通院等乗降介助		99	97	-2	

厚生労働省

- 処遇改善加算の拡充で人手不足の解消可能
訪問介護の処遇改善加算は14.5～24.5%の加算率を取得できるよう設定した。訪問介護の利益率は7.8%と全サービス2.4%を大きく上回っており賃上げ余地があると考えます。
それにひきかえ特養の利益率は-1.0%、老健の利益率は-1.1%と経営が厳しく今回報酬引き上げとなった。また処遇改善加算を一本化し拡充した効果も出てくる。
こうした要素を考慮して各サービスの基本報酬を設定した。



懸念意見

- 処遇改善加算拡充だけでは人手不足の解消困難
改善加算を乗じる前の基本報酬単価が下がれば、それを補うだけの加算を取得しない限り処遇改善は困難。また加算取得のハードルは高く加算は容易ではない。
訪問介護の経営は苦しくなり、これからの物価上昇、他社の賃金上昇のスピードに追いつけなければ新規募集や離職回避は難しい。
現状のホームヘルパーの有効求人倍率が15倍を超えている現状で間に合わない。地方の訪問介護は成り立たなくなる可能性がある。





健康長寿 免疫力の老化予防と活性化



ケア・ライフ・デザイン
きらみさお
代表 吉良操

免疫とは、細菌やウイルスなどの微生物など、自分の身体にはもともとないものから、自分たちの身体を守るしくみです。免疫力(免疫機能の病原体に対する抵抗性)は年齢とともに衰えます。結果、病気にかかりやすくなり、若い頃は簡単に治る病気でもなかなか回復せず、薬も効かなくなります。

免疫機能を維持させ、病原体に対する抵抗力をつけるため、日常生活の中で**栄養、運動、ストレス解消、休養**を意識して取り入れることが必要です。

栄養バランスのよい食事



栄養バランスのよい食事の1日分のめやす

- **主食** × 1品/1食あたり
(米飯・めん類・パン類)
- **主菜** × 1品/1食あたり
(肉・魚・豆腐(大豆製品)・卵料理)
- **副菜** × 2品/1食あたり
(野菜目海藻類・きのこ類料理)

1日3食



牛乳コップ

果物握りこぶし
1個/日



適度な運動等



- ウォーキングや軽いジョギングなど効果的。
- 激しい運動やトレーニングはストレスになりかえって免疫機能を低下させるリスクがある。



ストレスを かけない生活



- 過剰なストレスを感じると**交感神経**が優位になり血管が収縮し全身への栄養の供給が減り免疫機能が正しく機能しなくなる。
- **副交感神経**を優位にする。身体と心をリラックスさせる。
- **楽しいことをする。笑う。**

十分な休養 (睡眠)



- 高齢者はつねに低レベルで慢性的な炎症が起こっている状態。
- 睡眠時には免疫機能がウイルスや細菌と戦っている。
- 休息(睡眠)は副交感神経を優位にすることに役立つ。



■ 長寿科学振興財団 健康長寿ネット「免疫系の老化」
<https://www.tyojyu.or.jp/net/kenkou-tyoju/rouka/meneki-rouka.html>

高齢者虐待防止
義務化!

医療・介護現場 における

10の対応事例



2024年2月16日(金)

15:00~16:30

無料

GREEN CARE FORUM Online



きぬせん福祉用具研究会

千葉県船橋市海神四丁目9-18

連絡先: 047-433-1012 FAX: 047-433-1034

mail: info@kinusen.net URL: <https://kinusen.net>

